# 奈良山通信

## 奈良山霊苑の桜

「人々が集う、サクラの名所にしたい」、そんな山下社長の言葉に誘われ奈良山霊苑のサクラたちとのお付き合いが始まりました。植栽されているサクラは約百本。霊苑に入り、一本一本をていねいに見て回るとサクラたちの悲鳴が聞こえてきました。

テンング巣病が蔓延し、ウメノキゴケなどの地衣類に覆われ、カズラに押しつぶされそうなサクラがあります。土壌は硬い粘土質なので、根を地下に伸ばすことができず、太い根が水を求めて地表を這い回っています。根が張れなくなっているサクラもあります。

昨年から始まった下草刈りでススキやカズラが刈り払われ、二月のテンング巣病の治療、樹木クリーニングや土壌改良で、サクラたちに笑顔が戻り始めました。多くの人の手と思いやりが入り、霊苑全体が瑞々しい空気に包まれています。

春の一日、お墓参りをかねてサクラたちとの会話を楽しんでみて下さい。

感じ取っておいただけたらと思います。

あてりますが、来年再来年とその変化をまだまだ痛々しいサクラもあります。

今年のサクラをご覧下さい。

奈良山霊苑管理組合
伊東樹木医事務所　伊東幸男

## 樹木葬霊域

シンボルツリーの『やまぼうし』

樹木葬とは、墓石等を置かずに土の中に遺骨を埋葬した樹木を墓標にした埋葬方法です。

自然を壊さない墓地として環境にも優しいと注目されています。

「自然との調和」「動植物との共存」「自然へ還る」を目指す当霊苑では、樹木葬霊域自体が自然の中にあるように、何処の山にも自生している「やまぼうし」を墓標として植樹しております。

霊苑では土に還る骨壷をご用意しております。（和紙で拵えています。）

と言う概念から、当霊苑では土に還る骨壷をご用意しております。

・・・後継者がいない自然の中で静かに眠りたい手入れ等の負担や費用の軽減

というお考えをお持ちの方から樹木葬についてのお問合せが多数寄せられています。

昔ながらの「家」制度が薄れて核家族が多くなっている現代、時代にあった埋葬方法を求める声があっても不思議ではありません。

その一つが**樹木葬**です。

現在、お墓の継承についてお悩みの方或いは、樹木葬に興味のある方等下記事務所までお気軽にご連絡下さい。

## 永代供養塔

永代供養塔とは、永代に渡って供養と管理をしてもらえるお墓です。

当霊苑では、永代供養塔霊域を来年春の完成を目標に準備中です。

右下の写真は永代供養塔霊域に設置予定の「**六角寶篋印塔**」です。去年の庵治展示会において香川県知事賞を受賞した世伝石塔です。全国の石材業界で最も高い評価をいただきました。

永代供養塔霊域が完成するまでは、当霊苑管理組合の母体である㈱山下石材本社にて展示しております。

是非お越し下さい。

## お墓参りをするという事

一昔前に「千の風になって」という歌がはそこに居ません」、つまり“お墓に魂はあるのでしょうか？”と唄っていますが、果たしてそうでしょうか？

仏教は、インドで生まれ、中国に渡って道教と儒教の影響を受けて、6世紀頃に日本に伝ってきました。中国の「礼記」という日本人の思想に沿った形となって日本に本の中に「魂魄（こんぱく）」思想があります。生きている人の体には、魂（こんぱく）の魂と魄（はく）の魂があり、これを魂魄と言います。そして、人は亡くなると魂魄は魂気（こんき）と形魄（けいはく）に分かれ、魂気は天に昇り、形魄は地に還ります。

その形魄が宿っているのがお墓なのです。

お墓参りをするという事は、私達を生んでくれた親やご先祖様に感謝の気持ちを伝えに行く事です。

お彼岸や、お盆・お正月にお詣りする事はもちろん、祥月命日や、嬉しい事や悲しい事があった時等に、ご先祖様に話を聞いてもらうのもいいのではないでしょうか？ご先祖様は、冥土の国で私達をずっと見守ってくれていますから、喜んで話を聞いてくれるでしょう。

また、ご先祖様の冥土の国での幸せつまりご冥福をお祈りする事はご先祖様にとって嬉しい事ですから、この世にいる私達の幸せを約束してくれるのです。

お墓は、ご先祖様とこの世にいる私達の交換をする場でもあり、幸せを確認する場でもあるのです。

## 年間管理料について

年間管理料の支払方法の変更に伴う口座振替依頼書のご返送、並びに平成二十二年度管理料のお支払い、誠に有難うございました。

今年度管理料の引落しを一月末に予定しておりましたが、手続きの都合上、未だ出来ておりませんでした。手続きが整いましたら、お引落しをさせて頂きますので、残高確認の程宜しくお願い致します。

尚、口座振替依頼書のご返送がおすみでない方は、用紙にご記入・ご捺印の上、ご返送の程重ねてお願い申し上げます。

## 霊苑の桜について

今年、当霊苑では病気に侵された樹木の治療工事を行いました。

「テンング巣病」「ウメノキゴケ」という病気にかかっていた樹木、雪の降る寒い中、奈良山霊苑管理組合員の造園業の奥山氏・樹木医の伊東氏達の手で一本、一本伐採・駆除・消毒・栄養撒布等の作業が行われ見事に元気な姿になりました。暖かな陽気も続き、霊苑の桜も満開となりました。今年の桜は、いろんな意味で日本中を元気にしてくれると思います。

↑縁台設置予定地

只今製作中のステージ（縁台）は霊苑でのお花見等、どなた様でもご利用出来るように開放しております。

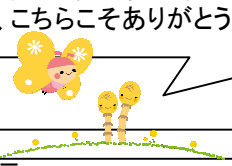
㈱山下石材も、お天気の良い日にお花見を予定しています。

## 落し物について

毎週金曜日、当管理事務所では霊苑の清掃作業を行っています。

そこで、ライターの落し物がありました。お心当たりのある方は、管理事務所で保管しておりますのでお立ち寄り下さい。

ある朝、事務所入口付近に
「御礼　助かりました」と、書かれた封筒が置かれていました。お彼岸頃より、事務所前にてご自由にお持ち帰り下さいとしきみを置いておりました。
「しきみ貰います。ありがとう。」と、声を掛けてくださる方もいらっしゃいました。
皆様に喜んで頂き嬉しく、思い掛けないお言葉に、こちらこそありがとうございます。



発行元：
奈良山霊苑管理事務所
〒798－1351
愛媛県北宇和郡鬼北町奈良4230-1
電話　(0895)45－0164
FAX　(0895)45－1566